


令和元年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立高校体育系連絡協議会 】

1 実践テーマ	【 I・V 】
2 実施対象者	1年：240名 2年：実施中止 3年：実施中止
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (保健体育)</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	スポーツの価値を実感させるとともに、スポーツへの多様な関わり方について深く考える機会とし、2020年以降のスポーツ文化の広がりにも貢献する人材を育成する。
5 取組内容	<p>スポーツ健康科学科設置校である乙訓高校及び普通科スポーツ総合専攻設置校である洛北高校・鳥羽高校・西城陽高校・久御山高校・綾部高校により組織された府立高校体育系連絡協議会において取組を実施。</p> <p>(1) 講演 講師 平松 祐司 氏 <陸上競技；走高跳> 2015年世界陸上競技選手権北京大会出場 演題 「栄光と挫折～強くなるために～」</p> <p>1年生を対象に実施。将来のスポーツ文化発展の担い手となることが期待される生徒たちが、平松選手の体験談や考え方を聞く中で、スポーツの価値を再認識するとともに、自分の「今」、そして「将来」を考える機会とした。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p>(2) 研究発表会 各校において、体育系コースでのこれまでの学びを踏まえ、自ら設定した課題について、個人やグループで調査・実験・文献研究等に取り組み、6校の生徒が一堂に会する場で、校内選考で選ばれた優秀な研究の発表を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症に係る対応により中止となった。</p> </div> <div style="flex: 1;">  </div> </div>

6 主な成果	<p>(1) 講演 生徒たちは、トップアスリートである平松祐司選手の考え方に触れ、卓越・挑戦の気持ちをもって自身の専門競技に打ち込む意欲を改めて高めるとともに、現在・将来に向けた意識の高い目標設定やその取り組みへの考え方や姿勢についての様々な話を聞き、スポーツの価値やスポーツとの多様な関わり方についてより深く考えることができたようである。将来のスポーツ文化の担い手として、今後の体育系コースの学びの中で、これまで以上に深く考えていくよいきっかけになったと考える。</p> <p>(2) 研究発表 新型コロナウイルス感染症に係る対応により中止</p>
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>(1) 講演 参加生徒と同じスポーツ総合専攻の卒業生である平松選手の競技生活における努力の在り方や苦悩されている一面を、一斉講義及び質疑応答する形式で実施した。各校で平松選手や世界陸上、オリンピック等について事前学習を行った上で、関心のある内容や質問したい内容を集約し、各校からそれを踏まえて質問を行った。また、各校における事後学習として、感想文をもとに互いの考えを共有する機会をもち、講演を受けての考えをより深めた。</p> <p>(2) 研究発表大会 新型コロナウイルス感染症に係る対応により中止</p>
8 主な課題等	<p>6校が集まれる機会は限定的であり、時間の制約も大きい。これまでの成果・課題を踏まえ、実施内容を精選するとともに、各校独自の取組との効果的なリンクについて、より検討を進める必要がある。</p>
9 来年度以降の実施予定	<p>講演を実施する場合、2020年以降のスポーツ文化の広がりにも貢献する人材育成の観点から、多様なスポーツへの関わり方について考えさせるため、スポーツを「支える」立場の方も講師候補として検討していきたい。</p>